

2026年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社かんなん丸 上場取引所 東
コード番号 7585 URL http://www.kannanmaru.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野々村 孝志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 宮永 一彦 TEL 048-815-6699
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年 6 月期第 1 四半期の業績 (2025年 7 月 1 日～2025年 9 月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 6 月期第 1 四半期	473	1.2	△27	-	△25	-	△26	-
2025年 6 月期第 1 四半期	467	24.3	△32	-	△31	-	△32	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 6 月期第 1 四半期	△7.05	-
2025年 6 月期第 1 四半期	△8.54	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 6 月期第 1 四半期	1,437	400	27.8
2025年 6 月期	1,539	426	27.7

(参考) 自己資本 2026年 6 月期第 1 四半期 400百万円 2025年 6 月期 426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 6 月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年 6 月期	-				
2026年 6 月期 (予想)		-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2026年 6 月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2026年 6 月期の業績予想 (2025年 7 月 1 日～2026年 6 月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	980	3.3	△10	-	△12	-	△14	-	△3.67
通期	2,050	9.5	8	-	9	-	5	-	1.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	4,351,308株	2025年6月期	4,351,308株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	539,832株	2025年6月期	539,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	3,811,476株	2025年6月期1Q	3,811,496株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、原材料価格の高騰や人件費の上昇など、物価上昇圧力が強まる状況が続いており、家計の負担増や企業の収益圧迫が顕著になっております。賃金上昇の動きはあるものの、手取りへの反映は限定的であり、消費環境は依然として厳しい状況にあります。

外食産業全体では、客単価の上昇により売上高の回復傾向が見られるものの、来店客数の全体的な増加には至っておらず、原材料費・エネルギーコスト・人件費の上昇など、コスト面での負担は依然として高水準で推移しており、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社の第1四半期業績は、7月および8月においては堅調に推移したものの、9月に入り台風の影響や週末の天候不良が重なり、一部店舗において売上が想定を下回る結果となりました。来店客数の減少傾向が一部で見られた一方、客単価の上昇により前年同期比では業績は改善しておりますが、その改善幅は限定的なものとなりました。

原材料価格の高騰は継続しており、当社ではこれに対する対応策として、メニュー構成の見直しを進めております。F C業態では定期的なグランドメニューの改定を実施しており、当社独自業態である「じんべえ太郎」においても、今後のメニュー変更を通じて原価率の適正化と顧客満足度の向上を図ってまいります。

また、最低賃金の改定に伴う人件費の上昇も見据え、当社は今後も業態ポートフォリオの最適化、業務効率の改善、ならびに顧客ニーズへの的確な対応を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

当第1四半期会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」10店舗、「日本海庄や」2店舗、カラオケルーム「kobanちゃん」1店舗、大衆すし酒場「じんべえ太郎」13店舗、Italian Kitchen「VANSAN」4店舗、女性専用A I パーソナルジム「FURDI」2店舗の合計32店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高473,615千円（前年同期比1.2%増）、売上総利益は327,894千円（前年同期比0.6%増）、販売費及び一般管理費については355,809千円（前年同期比0.7%減）となり、営業損失は27,914千円（前年同期は営業損失32,145千円）となりました。

経常損失につきましては25,848千円（前年同期は経常損失31,473千円）、税引前四半期純損失25,851千円（前年同期は税引前四半期純損失31,473千円）となり、四半期純損失26,861千円（前年同期は四半期純損失32,542千円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

	料理飲食事業	その他
売上高 (前年同期比)	463,866千円 (1.5%増)	9,728千円 (9.4%減)
セグメント利益又は損失(△) (前年同期比)	21,669千円 (28.7%増)	△3,454千円 (-)

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は506,399千円となり、前事業年度末に比べて95,471千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が95,492千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は931,063千円となり、前事業年度末に比べて6,835千円の減少となりました。これは主に、建物等の有形固定資産が減価償却等により8,641千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は335,469千円となり、前事業年度末に比べて59,002千円の減少となりました。これは主に、未払金の減少29,545千円及び未払消費税等の減少25,797千円によるものであります。

また、固定負債は701,919千円となり、前事業年度末に比べて17,163千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少17,628千円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は400,074千円となり、前事業年度末に比べて26,141千円の減少となりました。これは主に、四半期純損失の計上の結果、利益剰余金が26,861千円減少したことによるものであります。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等

当第1四半期累計期間において、既存店の収益力向上への取り組みや業態転換による店舗収益の改善は着実に進展しております。一方で、地域特性や立地条件等により依然として収益確保に苦戦する店舗も存在しており、黒字転換には至っておらず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が継続しております。このような状況を解消するため、当社は事業の収益改善と財務の安定化を目的として、以下の施策を継続的に実施しております。

まず、収益改善に向けては、既存店のテコ入れを進めるとともに、自社ブランドである「じんべえ太郎」においては、メニュー構成の見直しやオペレーションの効率化を図り、集客力の向上とコスト管理の徹底に努めております。FC業態である「VANSAN」についても、本部指導のもとで業態ポテンシャルの最大化を図るほか、「庄や」などの既存ブランドにおいても、収益力向上に向けた取り組みを継続しております。

財務面では、業態転換に伴う投資が一段落したことを受け、投資店舗の安定化と収益力の向上に注力しており、運転資金の確保とキャッシュ水準の維持に努めております。

当第1四半期末現在において、当社は現金及び預金残高421,137千円、純資産残高400,074千円を有しており、一定の財務基盤を維持しております。今後も、これらを基盤として上記施策を着実に実行していくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,629	421,137
売掛金	46,914	46,066
原材料	14,456	14,880
前払費用	19,980	19,628
その他	3,888	4,686
流動資産合計	601,870	506,399
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	417,427	408,785
土地	213,034	213,034
その他（純額）	46,791	45,577
有形固定資産合計	677,252	667,397
無形固定資産	14,224	14,154
投資その他の資産		
差入保証金	195,714	195,074
その他	56,826	57,787
貸倒引当金	△6,119	△3,350
投資その他の資産合計	246,421	249,512
固定資産合計	937,898	931,063
資産合計	1,539,769	1,437,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,086	47,231
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	50,199	56,970
未払金	94,369	64,824
未払法人税等	4,730	1,062
賞与引当金	1,100	4,400
その他	96,987	60,981
流動負債合計	394,471	335,469
固定負債		
長期借入金	594,346	576,718
リース債務	584	551
資産除去債務	108,147	108,517
繰延税金負債	16,005	16,133
固定負債合計	719,082	701,919
負債合計	1,113,554	1,037,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	313,600	313,600
利益剰余金	680,020	653,158
自己株式	△622,168	△622,168
株主資本合計	421,451	394,590
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,764	5,483
評価・換算差額等合計	4,764	5,483
純資産合計	426,215	400,074
負債純資産合計	1,539,769	1,437,462

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
売上高	467,802	473,615
売上原価	141,729	145,720
売上総利益	326,073	327,894
販売費及び一般管理費	358,218	355,809
営業損失（△）	△32,145	△27,914
営業外収益		
受取利息	45	304
貸倒引当金戻入額	-	2,769
その他	1,786	322
営業外収益合計	1,831	3,396
営業外費用		
支払利息	1,141	1,324
その他	18	4
営業外費用合計	1,159	1,329
経常損失（△）	△31,473	△25,848
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	2
特別損失合計	-	2
税引前四半期純損失（△）	△31,473	△25,851
法人税、住民税及び事業税	1,231	1,272
法人税等調整額	△162	△262
法人税等合計	1,068	1,010
四半期純損失（△）	△32,542	△26,861

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	16,310千円	15,130千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I. 前第1四半期累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期財務 諸表計上額 (注) 3
	料理飲食事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	457,063	457,063	10,738	467,802	—	467,802
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	457,063	457,063	10,738	467,802	—	467,802
セグメント利益又は損失 (△)	16,838	16,838	△4,529	12,308	△44,454	△32,145

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「FURDI」事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額△44,454千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っております。

II. 当第1四半期累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期財務 諸表計上額 (注) 3
	料理飲食事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	463,886	463,886	9,728	473,615	—	473,615
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	463,886	463,886	9,728	473,615	—	473,615
セグメント利益又は損失 (△)	21,669	21,669	△3,454	18,215	△46,129	△27,914

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「FURDI」事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額△46,129千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っております。